

授業科目名	相談援助入門	単位数	2
担当教員名	大溝 茂	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)	社会福祉士としての実務経験のある教員が、特に信頼関係構築を目指した対人援助の構築方法の基本について解説する。		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>本科目は、相談支援を通して各ケース応じた支援が必要は何か考えることにより、自律的な課題探求能力の基本を身に付けていくことを目的とする。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>(1) 相談援助の基本的な理論を理解する</p> <p>(2) 相談援助を実践するための基本的な姿勢を理解する</p> <p>(3) コミュニケーションの技法について学ぶ</p>			
<p>授業の概要</p> <p>現在、スクールソーシャルワーカーの学校現場への配置等が進んでいるように、相談援助の技法は様々な現場で活用されている。貧困や虐待等の問題が表面化しているが、このような問題の背景には「人と人」「人と社会」の繋がりが薄いために問題となっているケースも多い。よって、「人と人」「人と社会」の繋がりをキーワードに、特に「人と人」の関係性に焦点を当てて演習を通して進めていく。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：現在の福祉に関連した社会問題</p> <p>第2回：相談援助とは何か</p> <p>第3回：相談援助の基本的原理</p> <p>第4回：対人援助の作法を身につける前に</p> <p>第5回：言葉を用いず信頼関係を築く作法</p> <p>第6回：相手の気持ちに寄り添う作法</p> <p>第7回：相手に質問するときの作法</p> <p>第8回：相手に伝えるときの作法</p> <p>第9回：相手のもっている力を引き出す法</p> <p>第10回：苦手を感じず相手とかわる作法</p> <p>第11回：対応が困難に思える人への作法</p> <p>第12回：マッピング技法</p> <p>第13回：相談援助の展開過程（プロセス）①</p> <p>第14回：相談援助の展開過程（プロセス）②</p> <p>第15回：授業統括</p> <p>定期試験</p>			
<p>テキスト</p> <p>(1) 『対人援助の作法』中央法規出版 竹田 伸也 編著 中央法規 2019年</p>			
<p>参考書・参考資料等</p> <p>(1) 新・社会福祉士養成講座〈6〉『ソーシャルワークの理論と方法』中央法規 2021年</p>			

(2) 『ケースワークの原則』誠信書房 2017年

学生に対する評価

スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）を総合して評価する。